

ふるさととよさが 今と昔

その10 葛塚の街並み ~常盤町と上大口~

■大正中期の常盤町通り

中央を堀が通っている。左に見えるのが「割烹 中常楼」。当時、常盤町は「新潟の奥座敷」と言われた歓楽街だった。



現在、堀は埋められ、道路となっている。市日には葛塚市が立つ。

■大正初期の上大口通り

上大口・中大口間の交差点から稲荷神社の方向を望む。左に見えるのは、八百屋「八百幾（やおいく）」。



現在の上大口通り。道路の微妙なカーブの具合は当時のままだ。平成16年10月撮影。



大正時代、葛塚町一番の繁華街と言えは本町通り。常盤町は料理屋や芸妓置屋が集まる歓楽街、大口通りは、さまざまな商店や農家が集まる集落の道路で、裏手（現在の白新町や朝日町周辺）には田んぼが広がっていました。当時、まだ車は珍しく、徒歩と川舟が主な交通手段でした。上大口通り・本町通りにはバスが通ったのは、大正末期のことです。



再会を喜び、地酒で乾杯

1月30日（日）東京都北区「赤羽会館」で、「豊栄」東京の会新春祝賀大会が開催されました。

豊栄出身者など164人と豊栄から小川市長以下24人が参加しました。地酒の「越乃雁晴（がんばんれ）」など酌み交わし、ふるさとの話に会場は例年になく盛り上がりしていました。

合併後も、この会は継続していくことが既に決まっており、来年の再会を誓っていました。



豊栄市美術協会から新春の贈り物

新春恒例の「チャリティー色紙展」と「会員展」が、1月13日（木）から16日（日）まで中央公民館で開催され、楽しみにしている大勢のファンが訪れました。

「豊栄へ引越してきて5年ですが、初めて来ました」と、芦田勝之さん・千恵子さん夫妻（石動）は熱心に作品に見入っていました。



今年も頼むぞ！

1月9日（日）、恒例の「消防出初式」が行われました。今年は、雪が舞い、気温も氷点下に近いというあいにくの天候。しかし、消防職員・消防団員合わせて458人、消防車両41台で勇壮にパレードすると、道行く人は足を止めて見物していました。



高校野球へ向けて闘志満々

1月22日（土）、総合体育館わきの屋内ゲートボール場で、「硬式野球教室」が行われました。

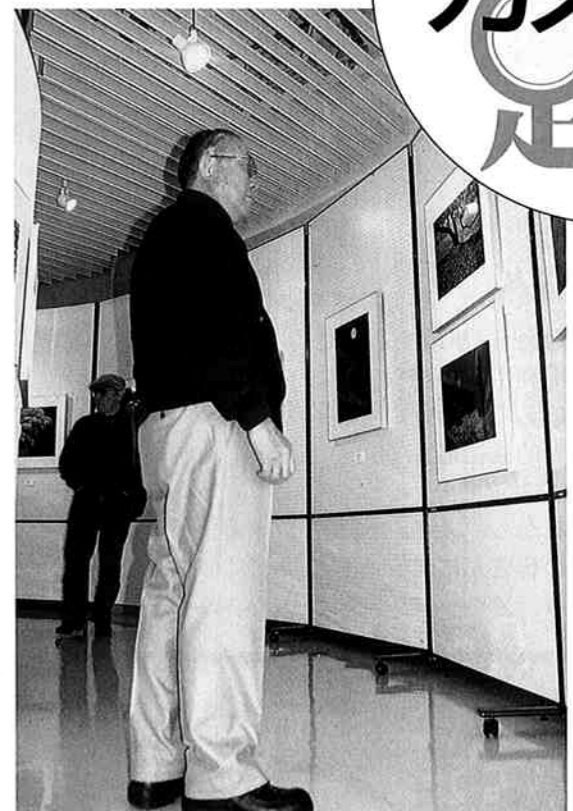
新潟県で唯一の実業団チーム「バイタルネット」の選手が、「ハピスカとよさか」に参加している中学3年生16人を指導。高校野球に向けたいい準備となりました。



写団「無名塾」会員の写真展

1月22日（土）から30日（日）まで、中央公民館展示室で「無名塾」写真展が開催されました。

会員が「それぞれの世界」としてブナ林や福島潟の自然など45点を展示。「私も山古志村へ撮影に行きますが、人がやさしく家族総出の稲刈りはいいですね」と新潟市から訪れたご夫婦は話してくれました。



超迫力の風景写真に圧倒

1月1日（元日）から2月13日（日）まで、水の駅「ビュー福島潟」で「竹内敏信新春写真展 天地（あめつち）」が開催されました。

今回は点数が多く、1月18日（火）に入れ替えを実施。日本を代表する風景写真家・竹内さんが25年の歳月をかけて撮った作品は、どれも迫力満点。市内外から、多くの写真愛好家が訪れました。



1月30日（日）まで博物館で開催された第6回ジュニア絵画展には、市内小中学校から754点の出品がありました。前期・後期に分けて全作品が展示され、豊栄の自然・風景をテーマに、子どもたちの作品は素直にのびのびと描いていました。

大賞受賞者

- 金平 友彩さん（葛塚小2年） 「ザリガニが2ひきいるよ」
- 渡邊良太郎さん（木崎小3年） 「大きな虫」
- 中村 丈さん（早通南小5年） 「自然に囲まれた校舎」
- 高口 弥美さん（木崎中3年） 「大切にしたい風景」

ジュニア絵画展で豊栄の魅力を再発見